

第8回



生きている地球の記録 in 大阪

2021年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品上映会

主催 公益財団法人三菱UFJ環境財団

2021 sun
8.22

10:20~16:09
(開場 10:00)

入場無料

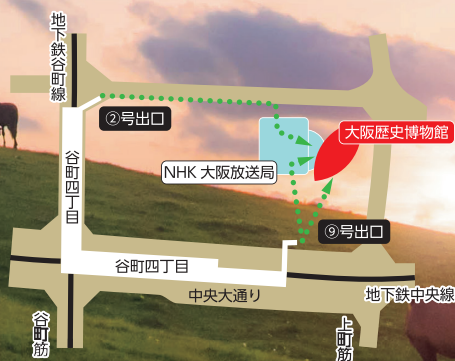
定員70名

事前申込制

事前申込がありませんと当日入場できません

大阪歴史博物館 4階講堂

電車・バスでお越しの方
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2号・9号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前



当日、暴風警報発令時等は、
会場である大阪歴史博物館の閉館規定に準じて中止します

共催 グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会

後援 大阪府・大阪市・大阪府教育委員会・
環境省近畿地方環境事務所

Screening Schedule

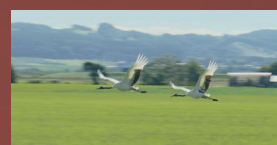
※海外作品は、日本語字幕もしくは日本語吹き替えとなります。
※プログラムは変更することがございます。

10:20~11:07

グリーンイメージ賞

たづ鳴きの里

(日本/47分)

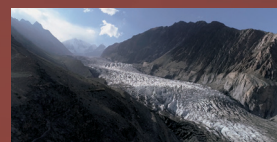


11:20~12:10

グリーンイメージ賞

パキスタン 一溶けゆくヒマラヤ

(シンガポール/50分)



昼食休憩

※会場での飲食はできません。お弁当等は館外の広場などでお召し上がりください。

13:10~14:24

グリーンイメージ大賞

いのち播く女たち 一母たちの大地

(ペルー/74分)

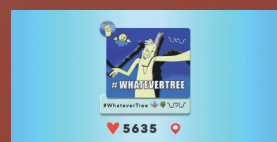


14:35~14:47

グリーンイメージ賞

ワットエパートゥリー

(カナダ/12分)



14:47~14:56

グリーンイメージ賞

移民ホッキョクグマ

(フランス/9分)



14:56~15:07

グリーンイメージ賞

ヒト科ヒト属

(オランダ/11分)



15:20~16:09

審査委員特別賞

ヒグマと老漁師
—世界遺産・知床を生きる

(日本/49分)



申込み方法は裏面をご覧ください。

公益財団法人 三菱UFJ環境財団 〒105-0014 東京都港区芝2-4-3 電話 03-5730-0337

新型コロナウイルスの感染状況により、内容変更・開催中止の可能性あります。

第8回



GREEN IMAGE
FILM FESTIVAL

生きている地球の記録 in 大阪

2021年8月22日(日)上映作品紹介

グリーンイメージ賞 10:20～11:07

たづ鳴きの里
Tazunaki no Sato

(日本 / 47分)

北海道長沼町の農家が100年以上前に姿を消したタンチョウを呼び戻す活動を始めた。洪水対策として造られた遊水地に湿地を復活させ、ツルの繁殖を目指すものだ。空き地が湿地へと変わっていく中、別の動物が訪れて農業被害が起き、ツルを追いまわす撮影者も現れる。住民と農業とツルの共存を目指して模索を続ける農民たちの1500日。

日本 / 2020 / 47分 / 日本語(英語字幕)
プロデューサー: 坂本 英樹 / 監督: 沼田 博光 / 製作: 北海道テレビ放送

グリーンイメージ賞 11:20～12:10

パキスタン 一溶けゆくヒマラヤ
Pakistan's Himalayan Meltdown

(シンガポール / 50分)

「雪の家」という意味の名であるヒマラヤの氷河は、気候変動により、今世紀末までに3分の1が溶けると予測されており、南アジアの約20億人への水の供給が脅かされている。インド・パキスタンの間で起こっているシアチェン氷河を巡る紛争、パキスタンの首都カラチで横行している水泥棒、気候変動緩和のための植林政策など、水を巡る最前線のレポート。

シンガポール / 2020 / 50分 / 英語(日本語字幕)
プロデューサー・監督: Shehzad Hameed AHMAD / 製作: Mediagorp Pte Ltd

昼食休憩 ※会場での飲食はできません。お弁当等は館外の広場などでお召し上がりください。

グリーンイメージ賞 13:10～14:24

いのち播く女たち 一母たちの大地
Mothers of the Land

(ペルー / 74分)

アンデス高地に生きる5人の女性たち。農業や遺伝子組み換え種子を使う工業的農業が主流となった中、伝統的な有機的方法で農耕を続けようと奮闘する彼女たちの日々を追う。

ペルー / 2019 / 74分 / ケチュア語・スペイン語(日本語・英語字幕)
プロデューサー・監督: Alvaro SARMIENTO & Diego SARMIENTO
製作・配給: HDPeru

グリーンイメージ賞 14:35～14:47

ワットエバートゥリー
WhateverTree

(カナダ / 12分)

ある1本の枯れ木が、生きものたちを惹きつけ、自然を愛する人々を惹きつけ、大勢のSNSフォロワーたちを惹きつける。ソーシャルメディア時代の人と自然の関係を切り取るアニメーション。

カナダ / 2020 / 12分 / 言語なし
プロデューサー・監督・製作・配給: Isaac KING

グリーンイメージ賞 14:47～14:56

移民ホッキョクグマ
Migrants

(フランス / 9分)

地球温暖化によって北極に住めなくなった2頭のホッキョクグマ。生きる場所を求める旅の中で、ヒグマに出会い、共生しようと試みるのだが……。愛らしいめいぐるみアニメーションで描かれるこの世界の寓話。

フランス / 2020 / 9分 / 言語なし / プロデューサー: Carlos De CARVALHO
監督: Hugo CABY, Antoine DUPRIEZ, Aubin KUBIAK, Lucas LERMYTTE, Zoé DEVISE
製作: Pôle 3D / 配給: Je Regarde

グリーンイメージ賞 14:56～15:07

ヒト科ヒト属
The Human

(オランダ / 11分)

「人間」をネーチャーフィルム風に観察記録するとどう見えるのか? 人と自然との関係性を風刺するショートドラマ。

オランダ / 2019 / 11分 / 英語(日本語字幕)
プロデューサー・監督: Harko WUBS / 製作・配給: Hark'oh Film

審査委員特別賞 15:20～16:09

ヒグマと老漁師 一世界遺産・知床を生きる
Bearman of Hokkaido

(日本 / 49分)

世界自然遺産登録から15年目の北海道・知床。その奥地にある、ヒグマの世界的密集地帯ルジャにカメラを据え、人とヒグマが共存する姿を36年にわたって克明に記録した。野生のヒグマを叱る老漁師の姿を通して、西洋的な自然観とは異なる、「人も自然の一部にすぎない」という日本特有の自然観が浮かび上がる。

日本 / 2020 / 49分 / 日本語
プロデューサー: 松宮 健一 / 監督: 矢内 智大 / 製作: NHK札幌拠点放送局

※海外作品は、日本語字幕もしくは日本語吹き替えとなります。 ※プログラムは変更することがございます。

●申し込み方法 / はがき・FAX、Eメールのいずれかにより
住所・氏名・(携帯)電話番号を記入のうえ、下記までお申込み下さい。

入場無料
定員70名

応募締め切り 2021年8月6日(金) 必着

はがき・FAX

公益財団法人三菱UFJ環境財団「生きている地球の記録」係宛
▶〒105-0014 東京都港区芝2-4-3三菱UFJ銀行芝ビル2F
▶FAX (03) 5232-0312

Eメール

送信先: eigakai@muef.or.jp 件名:「映画会申込の件」
記載要: 代表応募者連絡先(Eメールアドレス)、
応募者全員の氏名・フリガナ

参加者応募用紙(FAX用)～表裏に注意してこのままFAXしてください～

取得した個人情報は本事業の運営目的以外には使用しません

フリガナ		住所	〒
氏名			
(携帯)電話番号		メールアドレス (お持ちの方)	